〇 ほ場整備・客土工

土地改良事業等適用標準歩掛 (平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和5年2月21日以降	令和5年4月19日以降

 改 正
 現 行
 備 考

O ほ場整備・客土工

〇~1000 ほ場整備整地工

1 適用範囲

【省略】

4 施工歩掛

4-1 機械運転時間

作業種別ごとの 1ha 当りブルドーザおよびバックホウ運転時間は、次により算出する。

表 4-1 機械運転時間歩掛 (h/ha)

	衣 4-1 機械連転时	則少掛' (II / IIa)
機械名	ブルドーザ	バックホウ
	排出ガス対策型(第2次基準値)	排出ガス対策型(第2次基準値)
作業種別	湿地 16 t 級	クローラ型 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)
表土はぎ(t1)	<u>12.7+0.44Ha</u>	-0.3+0.10Ha
表土戻し(t ₂)	13.1 + 0.36Ha	_
基盤切盛(t3)	<u>9.6+19.55Hb</u>	-1.7+4.7Hb
基盤整地(t ₄)	<u>10. 6</u>	_
表土整地(t 5)	<u>13. 3</u>	_
置土整地(t6)	<u>13. 1</u>	_

- (注1) Ha:表土扱い厚(cm) (10 cm未満の場合は10 cmとする)
- (注 2) Hb: 現況平均田差(m) (計画区画内の現況ほ場標高差の最大値の平均)
- (注3) 運転時間は小数第2位を四捨五入して第1位まで算出する。
- (注4) 算定式で求めたバックホウ運転時間が1h/ha以下の場合は1h/haとする。

4-2 補助労務

作業種別ごとの労務歩掛は、次表を標準とする。

なお、普通作業員は、隅部の整地等の機械作業の補助、雑物除去及び軽微な仮排水(水切り)の作業 に係る労務である。

表 4-2 補助労務歩掛

(人/ha)

作業種別	土木一般世話役	普通作業員
表土はぎ	0.4	2. 1
表土戻し	0. 1	<u>1. 2</u>
基盤切盛	0. 1	<u>1.3</u>
基盤整地	0.3	<u>1. 9</u>
表土整地	0. 1	2.8
置土整地	0.1	3. 0

〇 ほ場整備・客土工

〇~1000 ほ場整備整地工

1 適用範囲

【省略】

4 施工歩掛

4-1 機械運転時間

作業種別ごとの 1ha 当りブルドーザおよびバックホウ運転時間は、次により算出する。

表 4-1 機械運転時間歩掛

(h / ha)

	7.7	
機械名	ブルドーザ	バックホウ
	排出ガス対策型(第2次基準値)	排出ガス対策型(第2次基準値)
作業種別	湿地 16 t 級	クローラ型 山積 0.8 m (平積 0.6 m)
表土はぎ(t1)	<u>10.7+0.53Ha</u>	−0.3+0.10Ha
表土戻し(t2)	<u>8.0+0.53Ha</u>	_
基盤切盛(t3)	<u>7.7+21.1Hb</u>	-1.7+4.7Hb
基盤整地(t ₄)	<u>11. 0</u>	_
表土整地(t 5)	<u>11. 0</u>	_
置土整地(t 6)	<u>11. 0</u>	_

- (注 1) Ha:表土扱い厚(cm) (10 cm未満の場合は 10 cmとする)
- (注2) Hb: 現況平均田差(m) (計画区画内の現況ほ場標高差の最大値の平均)
- (注3) 運転時間は小数第2位を四捨五入して第1位まで算出する。
- (注4) 算定式で求めたバックホウ運転時間が1h/ha以下の場合は1h/haとする。

4-2 補助労務

作業種別ごとの労務歩掛は、次表を標準とする。

なお、普通作業員は、隅部の整地等の機械作業の補助、雑物除去及び軽微な仮排水(水切り)の作業 に係る労務である。

表 4-2 補助労務歩掛

(人/ha)

作業種別	土木一般世話役	普通作業員
表土はぎ	0.4	2. 1
表土戻し	0. 1	<u>1. 3</u>
基盤切盛	0. 1	<u>1. 4</u>
基盤整地	0.3	<u>2. 0</u>
表土整地	0. 1	2.8
置土整地	0.1	3. 0

表内、数値の改正

表内、数値の改正

 改
 正

 現
 行

5 単価表

(1) ほ場整備整地工 1ha 当り単価表

名 称	規格		数量	摘 要
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第 2 次基準値) 湿地 16 t 級 レーザーレベル付	h		表 4-1
バ ッ ク ホ ウ クローラ型運転	標準型・排出ガス対策型(第 2 次基 準値) 山積 0.8 ㎡(平積 0.6 ㎡)	"		n .
土木一般世話役		人		表 4-2
普通作業員		11		II .
計				

(注1) 単価表に用いる数量について

ブルドーザの運転時間、補助労務の算定に当っては「4 施工歩掛」により必要な作業を項目ごとに算定し、 次表を参考に組み合わせて算出する。

工法作業種別	標準切盛	突き均し	表土扱置土	突き均し置土
表土はぎ (t ₁)	0		0	
基盤切盛 (t3)	0	0	0	0
基盤整地 (t ₄)	0	0	0	0
表土戻し(t2)	0		0	
表土整地 (t 5)	0			
大運搬			別途	別途
小運搬			別途	別途
放下整理			別途	別途
置土整地(t ₆)			0	0
ブルドーザ運転	$t_1 + t_2 + t_3 + t_4 + t_5$	t ₃ + t ₄	$t_1 + t_2 + t_3 + t_4 + t_6$	t 3 + t 4 + t 6
バックホウ運転	t 1 + t 3	tз	t 1 + t 3	t ₃
土木一般世話役	1.0	0.4	1.0	0.5
普通作業員	<u>9. 3</u>	<u>3. 2</u>	<u>9. 5</u>	<u>6. 2</u>

5 単価表

(1) ほ場整備整地工 1ha 当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘要
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第 2 次基準値) 湿地 16 t 級 レーザーレベル付	h		表 4-1
バックホウクローラ型運転	標準型・排出ガス対策型(第 2 次基準値) 山積 0.8 ㎡(平積 0.6 ㎡)	11		II.
土木一般世話役		人		表 4-2
普通作業員		IJ		IJ
計				

(注1) 単価表に用いる数量について

ブルドーザの運転時間、補助労務の算定に当っては「4施工歩掛」により必要な作業を項目ごとに算定し、 次表を参考に組み合わせて算出する。

工法作業種別	標準切盛	突き均し	表土扱置土	突き均し置土
表土はぎ (t 1)	0		0	
基盤切盛 (t3)	0	0	0	0
基盤整地 (t ₄)	0	0	0	0
表土戻し(t₂)	0		0	
表土整地 (t 5)	0			
大運搬			別途	別途
小運搬			別途	別途
放下整理			別途	別途
置土整地(t ₆)			0	0
ブルドーザ運転	$t_1 + t_2 + t_3 + $ $t_4 + t_5$	t ₃ + t ₄	$t_1 + t_2 + t_3 + t_4 + t_6$	t 3 + t 4 + t 6
バックホウ運転	$t_1 + t_3$	tз	t 1 + t 3	t ₃
土木一般世話役	1.0	0. 4	1.0	0.5
普通作業員	<u>9. 6</u>	<u>3. 4</u>	<u>9.8</u>	<u>6. 4</u>

表内、数値の改正

		備考
O~1020 反転均平工法	O~1020 反転均平工法	
	1 適用範囲	
【省略】		
	4 機様ので記点	
4 機種の選定 反転均平工法に使用する機種は次表を標準とする。	4 機種の選定 反転均平工法に使用する機種は次表を標準とする。	
表 4-1 作業機種の選定	表 4-1 作業機種の選定	
原動機 作業機	原動機作業機	
T法別 作業別 (レーザー仕様) (レーサーレベラー パンブ 備 考		表内、字句の追加
5 t 11 t <u>湿地</u> 16 インチ 22 インチ 30 インチ レーカ	5 t 11 t 16 インチ 22 インチ 30 インチ 3 <u>m</u> レーカ	及び削除
クラス クラス 16t級 5連 3連 2段 ^{3m} h≦0.30m		
反転均平 反転耕起		
I 運土·整地 ○ 反転均平 II −1 □ E ± □ E ± □ E ± □ E □ □	II-1 運土·整地 ○ 反転均平 II-1 運 土 ○ 整 地 ○ ○	
II -1 整 地 ○		
E	T 整 地 〇	
整 地 〇	整 地 〇	
準備工 心土破砕 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	準備工 心土破砕	
(注 1) 準備工のパンブレーカ <u>(2 本爪 作業幅 1.6m 5t クラス)</u> は春施工等で融雪水などほ場内の排水作業があ 場合に計上する。また、使用する原動機はレーザー仕様としない。	る (注 1) 準備工のパンブレーカ は春施工等で融雪水などほ場内の排水作業がある場合に計上する。また、使用する原動機はレーザー仕様としない。	る 字句の追加
(注 2) パンブレーカの 1 日当り運転時間は、T=5.7 時間とする。		字句の追加

 改 正
 現 行
 備 考

5 施工歩掛

5-1 反転均平作業

施工歩掛は下表のとおりとする。

表 5-1-1 施工歩掛表

			表り一1一	1 施工歩掛表
工法別	作業の種類	歩掛算定式	単位	摘 要
	+ #+ ++	2.0H+1.2	h /ha	H=加重平均田差 (m)、最大耕起深 h ≦0.30mの場合に 適用。時間は小数第3位四捨五入。
反転均平	反転耕起	3.6H+2.7	"	H=加重平均田差(m)、最大耕起深h>0.30mの場合に適用。時間は小数第3位四捨五入。
I	運土・整地	15. $4H + 12.1$	11	H=加重平均田差(m)。時間は小数第3位四捨五入。
	心土破砕	-0.1A + 0.87	11	A=計画区画面積(ha)。時間は小数第3位四捨五入。
	補助労務	2	人/区画	区画=計画区画 1 枚当り、四隅の均し、雑草除去などに普通作業員を計上。
	反転耕起	6.9H + 3.2	h/ha	H=加重平均田差(m)。時間は小数第3位四捨五入。
	運 土	35.68H + 7.18]]	H=加重平均田差(m)。時間は小数第3位四捨五入。
反転均平	整地	<u>-1.8A+11.6</u>	"	A=計画区画面積(ha)、A<= <u>2.5ha</u> の場合に適用。 時間は小数第3位四捨五入。
II-1		<u>7. 08</u>	11	$A=$ 計画区画面積(ha)。 $A>$ ${2.5ha}$ の場合に適用。
	心土破砕	-0.1A + 0.87	11	A=計画区画面積(ha)。時間は小数第3位四捨五入。
	補助労務	2	人/区画	区画=計画区画 1 枚当り、四隅の均し、雑草除去などに普通作業員を計上。
	反転耕起	4.5H + 5.3	h/ha	H=加重平均田差(m)。時間は小数第3位匹捨五入。
	運 土	35.68H + 7.18	IJ	H=加重平均田差(m)。時間は小数第3位四捨五入。
反転均平	整地	<u>-1.8A+11.6</u>	11	$A=$ 計画区画面積(ha)、 $A<=$ $\frac{2.5ha}{0}$ の場合に適用。 時間は小数第 3 位四捨五入。
II-2		<u>7. 08</u>	11	$A=$ 計画区画面積(ha)。 $A>$ ${2.5ha}$ の場合に適用。
	心土破砕	-0.1A + 0.87	11	A=計画区画面積(ha)。時間は小数弟3位四捨五入。
	補助労務	2	人/区画	区画=計画区画 1 枚当り、四隅の均し、雑草除去などに普通作業員を計上。

(注1) 反転均平 I において、表 4-1 により耕起深 h に適した施工機種を採用する。

畦畔の造成、耕作道の盛土及び転圧、旧排水路及び旧耕作道の撤去などの作業歩掛は、下表とする。

表 5-1-2 畦畔及び耕作道の造成・旧排水と埋戻し作業歩掛

作業項目				作業機械	適応歩掛	摘要
押			土	16 t 級湿地ブルドーザ 排出ガス対策型(第 1 次基準値)	5-2	作業効率:ルーズ状態
転			圧	16 t 級湿地ブルドーザ 排出ガス対策型(第 1 次基準値)	5-3	
法	面	仕	上	バックホウ <u>(クローラ型)</u> <u>標準型</u> ・排出ガス対策型(第 1 次 基準値) <u>山積 0.8 ㎡(平積 0.6 ㎡</u>)	「B∼1100」	<u>耕作道</u> 盛土法面削取り
<u>畦</u>	畔	整	形	バックホウ (クローラ型) 標準型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値) 山積 0.45 ㎡ (平積 0.35 ㎡)		畦畔水平及び法面整形

(注 1) 既設畦畔の撤去は整地作業に含まれている。ただし、耕作道などレベラーで対応できない場合は別途計上する。

【省略】

5 施工歩掛

5-1 反転均平作業

施工歩掛は下表のとおりとする。

表 5-1-1 施工歩掛表

. 3.1	11 MIL 00 ME	11.111 feb. 1 . 15	227.71	
工法別	作業の種類	歩掛算定式	単位	摘 要
		2.0H+1.2	h/ha	H=加重平均田差(m)、最大耕起深h≦0.30mの場合に
	反転耕起			適用。時間は小数第3位四捨五入。
	汉 料 耕 起	3.6H+2.7	11	H=加重平均田差(m)、最大耕起深h>0.30mの場合に
反転均平				適用。時間は小数第3位四捨五入。
I	運土・整地	15.4H + 12.1	"	H=加重平均田差(m)。時間は小数第3位四捨五入。
	心土破砕	-0.1A + 0.87	"	A=計画区画面積(ha)。時間は小数第3位四捨五入。
	補助労務	2	人/区画	区画=計画区画 1 枚当り、四隅の均し、雑草除去などに普
				通作業員を計上。
	反転耕起	3.6H + 2.7	h/ha	H=加重平均田差(m)。時間は小数第3位四捨五入。
	運 土	<u>36. 2H</u>]]	H=加重平均田差(m)。時間は小数第3位四捨五入。
		<u>-1.9A+11.7</u>	"	A=計画区画面積(ha)、 $A<=$ $1.5ha$ の場合に適用。
反転均平	整 地			時間は小数第3位四捨五入。
II - 1		<u>6</u>	"	A=計画区画面積(ha)。A> <u>1.5ha</u> の場合に適用。
	心土破砕	-0.1A + 0.87]]	A=計画区画面積(ha)。時間は小数第3位四捨五入。
	補助労務	2	人/区画	区画=計画区画 1 枚当り、四隅の均し、雑草除去などに普
				通作業員を計上。
	反転耕起	5.5H + 5.1	h/ha	H=加重平均田差(m)。時間は小数第3位匹捨五入。
	運 土	<u>36. 2H</u>	11	H=加重平均田差(m)。時間は小数第3位四捨五入。
		<u>-1.9A+11.7</u>	"	$A=$ 計画区画面積(ha)、 $A<=$ $\frac{1.5ha}{}$ の場合に適用。
反転均平	整 地			時間は小数第3位四捨五入。
II-2		<u>6</u>	"	A=計画区画面積(ha)。A> <u>1.5ha</u> の場合に適用。
	心土破砕	-0.1A + 0.87	11	A=計画区画面積(ha)。時間は小数弟3位四捨五入。
	補助労務	2	人/区画	区画=計画区画 1 枚当り、四隅の均し、雑草除去などに普
	mby力物			通作業員を計上。

表内、数値の改正

表内、字句の追加

及び改正

(注1) 反転均平 I において、表 4-1 により耕起深 h に適した施工機種を採用する。

畦畔の造成、耕作道の盛土及び転圧、旧排水路及び旧耕作道の撤去などの作業歩掛は、下表とする。

表 5-1-2 畦畔及び耕作道の造成・旧排水と埋戻し作業歩掛

作業項目	作業機械	適応歩掛	摘要
押 土	16 t 級湿地ブルドーザ 排出ガス対策型(第 1 次基準値)	5-2	作業効率:ルーズ状態
転 圧	16 t 級湿地ブルドーザ 排出ガス対策型(第 1 次基準値)	5-3	
法 面 仕 上	バックホウ <u>山積 0.8 ㎡</u> <u>排出ガス対策型(第 1 次</u> 基準値)	「B∼1100」	盛土法面削取り

(注1) 既設畦畔の撤去は整地作業に含まれている。ただし、耕作道などレベラーで対応できない場合は別途計上する。

【省略】